

第2学期終業式 校長講話（12月22日）

学校には3つの学期があります。そして、その三つの中で一番長い2学期をこうしてみんな揃って迎えることができ、大変うれしく思います。もちろん、体調を崩して、今日、お休みしている人もいますが、大きな事故やけがもなく2学期を終えることができました。そんな2学期の終業式にあたり、少しお話をしたいと思います。

この終業式を終えると、明日から冬休みです。冬休みは夏休みほど長くはありませんが、大みそかやお正月といった家族や親戚の人と会ったり過ごしたりする機会が多くあります。祖父母の方に会う人もいるのではないのでしょうか。実は、昨日、先生はお休みをいただきました。親戚のおばが亡くなったからです。そのおばは少しはなれたところに住んでいるので、こういうお正月ぐらいしか会うことはなかなかありませんでしたが、会うたびに、「大きくなったなあ」と言ってくれたことを、葬儀に出ながら思い出していました。

いつも一緒にいる家族はなかなかそういう変化には気づきませんが、たまに会う祖父母や親戚の方は、みなさんのそんな成長に驚くものです。そんな「大きくなったなあ」という言葉をかけてもらった人も多くいると思います。その「大きくなった」の主語は、多くの場合は「体が」です。小学校のときに比べ、背や体格が大きくなり、男子はズボンの裾の折り返しを伸ばしてはいたり、その先から靴下がはっきり見えたりして、成長を実感することがあります。女の子も、こうして制服を着ているときは感じませんが、休日に街で会ったり市の行事などで見かけたりすると、大人びた服装に「大きくなった」と感じます。しかし、実はもうひとつ、「心が大きくなった」子も多くいます。

ここに「推薦入試希望申込書」というものがあります。3年生の進路を決める段階の中で、まず、私立高校や私立の専修学校の推薦入試を受ける子がその志望校を決めました。そして、推薦入試を受けるにあたり、「弥富中学校の生徒として推薦できるかどうか」を判断する「推薦委員会」というものが先日開かれました。それは、校長先生はもちろん多くの先生方が参加して行われるもので、一人一人が書いたこの「推薦入試希望申込書」も見ながら話し合いました。その中の一人の子が書いたものを紹介します。もちろん、本人の名前や学校名は伏せます。

私が中学校生活を送る上で、もっとも大切にされたことは、「あいさつ」

と「掃除」です。あいさつははきはきと、掃除は隅から隅まで綺麗にすることを大切にしてきました。

部活動では、弱い自分に何度も負け、チームにたくさんの迷惑をかけてきました。しかし、3年生最後の夏の大会で克服することができ、成長することができました。

この学校生活での経験と部活動で得た技術を生かして、高校生活を充実させたいと思います。また、多くの資格を取り、将来の夢を叶えるために、一步一步進みたいと思います。

以上の理由から、ぜひ、推薦でこの高校進学を希望します。

この子は普段は友だちと冗談を言い合ったり、時にはふざけたりもしている子です。しかし、こうやって自分のことをしっかり見つめ、将来のことを考えていることを知り、「大きくなったなあ」と思いました。

明日からの冬休み、ぜひ、家族や周りの人たちから、体も心も「大きくなったあ」と言われるよう、過ごしてほしいと思います。また、いつも長い休みに入る時には言っていることですが、自分の命、隣にいる子の命、周りにいる人たちの命を大切に、3学期の始業式にまたこうやって元気な姿で会えることを期待しています。